

## ●卒業式を挙行 47 回生 269 名の旅立ち



3月1日（日）、PTA 会長をはじめとして御来賓の方々ならびに保護者・保証人の皆様の御臨席を賜り、第 47 回卒業式が挙行されました。卒業証書授与に続いて、学校長、PTA 会長より饒の言葉が贈られ、在校生代表として生徒会長の I. M. さんより送辞が、卒業生代表として前生徒会長の Y. M. さんより答辞が述べられました。

卒業式の後には、3 年生から歌の披露があり、家族や仲間、学校、後輩たちへの感謝の言葉が伝えられました。厳かな中にも温かみのある式典となりました。

## ●予餞式・同窓会入会式が行われました



2月27日（金）、予餞式と同窓会入会式が行われました。予餞式では、生徒会より各部から卒業生にむけたビデオメッセージが上映され、その後、生徒会副会長の S. Y. さん（2 年）より、前生徒会副会長の T. M. さん（3 年）へ、学校名入りのボールペンが記念品として贈呈されました。

午後の同窓会入会式では、はじめに同窓会長より御挨拶をいただき、仙台南高校同窓会についての御説明をいただきました。入会にあたって同窓会長より記念品として卒業証書ホルダーが贈られ、47 回生幹事代表の I. R. さんが受け取りました。

## ●「主権者教育」2 年生が模擬投票を体験



3月17日（火）、主権者教育の一環として、仙台市選挙管理委員会事務局の方々を講師として招き、出前講座を行っていただきました。選挙のしくみや若者の投票の現状、正しい情報を選ぶことについての講義を受けた後、架空の市の住民として候補者演説から投票先を考え、実際に仙台市で使用されている記載台と投票箱を使って投票する、という体験を行いました。

当日は選挙管理委員の生徒が投票用紙交付係を担当しました。生徒たちは緊張しながらも架空の市の未来を考え、真剣に一票を投じていました。

## ●【合唱部】歌手の加藤登紀子さんが来校 ～「わせねでや」に思いを寄せて～



2月28日（土）、歌手の加藤登紀子さんが来校し、合唱部とともに「わせねでや」を歌ってくださいました。

「わせねでや」は、桂島に生まれ育ち桂島を愛する内海和江さんが、震災直後の避難所で綴った言葉をもとに、音楽家のヒザシさんが曲をつけ、加藤登紀子さんが歌った曲です。本校合唱部では、代々先輩からこの曲を受け継ぎ、これまでさまざまな場面で大切に歌い継いできました。

震災当時の記憶がほとんどない生徒たちが、この歌をどのような思いで歌い継いでいくのか、そして震災で失われたものを想いながら今を生きること、未来を生きることの尊さについて改めて考えました。生徒たちは、加藤登紀子さんご自身の経験や考えをうかがいながら、「わせねでや」に込められた意味について理解を深めました。最後に加藤登紀子さんと一緒に「わせねでや」を歌う機会をいただき、多くの学びを得る貴重なひとときとなりました。

この日の様子は3月11日、東北放送「ウォッチン！スペシャル東日本大震災15年～わせねでや～」で放送されました。

## ●「みんなでつくる復興コンサート2026」 大竹しのぶさんと「わせねでや」を披露

3月7日（土）に「みんなでつくる復興コンサート2026」が名取市文化会館の大ホールで行われ、本校合唱部が仙台フィルハーモニー管弦楽団とゲストの大竹しのぶさんと共演し、「わせねでや」を披露しました。

このコンサートは、仙台フィルハーモニー管弦楽団が、ロジスティード株式会社の特別協賛のもと開催しているもので、「音楽の力」を通じて「復興」への想いを未来に繋いでいくことを目指して、震災後の2012年から続けられ、今年で15回目になるそうです。

満員の観客を前に、生徒たちはそれぞれに想いを込めて歌うことができました。

